



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中！…

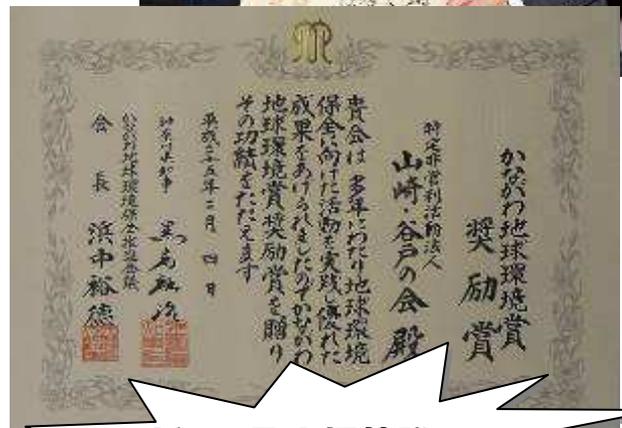
〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX：0467-47-1164 木曜を除く10時～16時
Web URL：http://www1.ocn.ne.jp/~ya-yato/ E メールアドレス：ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

「かながわ地球環境賞奨励賞」受賞

陽射しが暖かさをぐんぐん増しています。当会の行き届いた班活動のおかげで、雑木林のふもとや畑の脇には、かわいらしい春の花が顔をのぞかせています。田んぼにはアカガエルの卵がうごめいています。10年目を迎える当会を称えるように、神奈川県からめでたい賞をいただきました。新年度の始まりに、新たに多くの会員をお迎えしたいです。



2/3、田の土壌改良のための籾殻くん炭作り。今年の稲作に向けての準備も着々と進んでいます。



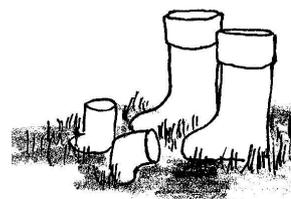
新しく里山探検隊を募集します！

もくじ

☆”谷戸塾”他募集→2・3p ☆各班からのお知らせ→4・5p ☆谷戸の自然だより→6p ☆谷戸往来→7p ☆谷戸の体験学習→8・9p ☆3～5月の日程表(裏表紙)

第5期

“谷戸塾”受講生募集！



谷戸塾は初めて参加される方を対象とした講座です。今年で、5期目を迎え、さらに内容を充実させましたので、ぜひ、継続会員の方も受講ください。作業の講座は、生きもの観察を含む4コースです。座学の講座は散策などを取り入れた7回になります。

毎回、講座には保育が付きます。子連れでの参加も可能です。

申込み：会員申込みの後、登録してください。

対象：小学5年生以上

オリエンテーション
4月14日(日)
10:00—12:00
管理棟2階 研修室にて

年間スケジュール(日程は変更の可能性があります)「神奈川県もり・みず市民事業支援補助事業(一部)」

月	作業 (9:30~12:00)				講座 (13:30~15:00)
	田んぼ	畑	雑木林	生きもの観察	
4	21(日) 種籾蒔き	21(日) さといもの植え付け	21(日) 斧(おの)で薪割り		
5	4(土) 田うない 26(日) くらつけ	19(日) さつまいもの苗植え	12(日) 鎌を研いで草刈り 26(日) 土手の手入れ	15(水) 植物調査	12(日) 谷戸とは・谷戸の田畑 26(日) 谷戸の田畑と生きもの
6	2(日) しろかき 9(日) 田植え	16(日) たのくろ豆の種まき		12(水) 野草畑の手入れ	9(日) 鎌倉の緑地と里山
7	7(日) 田の草取り	14(日) さといもの手入れ	14(日) 草刈りして堆肥をつくる	8(月) 田の植物観察	
8	4(日) 畔・土手の草刈り		4(日) 草刈りして水路整備	28(水) ツル植物除去作業	
9	15(日)すがい作り 29(日)はさ作り	1(日) 大根の種まき	15(日) アズマネザサの刈取り 22(日) 刈払い機で草刈り	2(月) パッタ・コオロギの分布	
10	13(日) 稲刈り	20(日) さつまいもの収穫	6(日) 稲刈り前の草刈り	9(水) 湿地の植物観察	
11	3(日) 脱穀	17(日) たのくろ豆の収穫		20(水) 野草の種の観察	
12	1(日) 落ち葉かき 22(日) 苗床耕し	8(日) 畑の土作り	1(日) 雑木林の除間伐	22(日) 野鳥観察	1(日)雑木林の管理 22(日) 正月飾りづくり
1	26(日) 籾殻くん炭		12(日) 雑木林の調査・測定 19(日)竹の伐採	6(月) 野鳥観察	26(日) 昔の谷戸
2		16(日) さつまいも苗床作り	9(日) 園内整備	23(日) 野鳥観察	
3	9(日) 道具の手入れ	9(日) 道具の手入れ	9(日) 山作業用の道具の手入れ	9(日) 帰化植物除去作業	9(日) 市民活動と里山保全

*収穫物の一部を、月1回の食マークの日、12月予定の親睦会で試食できます。*内容は変更することがあります。

初心者大歓迎!

「神奈川県もり・みず市民事業支援補助事業」

“水質調査隊”募集

谷戸の命である水の管理人として活動しませんか。水中生物の観察から水質調査も行います。！水路の手入れもします。会員登録の後、登録してください。

全5回(1回参加も可) 作業時間:9:30~12:00 集合:農家風休憩舎

日程:4/22(月) 5/8(水) 6/3(月) 8/19(月) 12/25(水)

新☆企画!

“里山探検隊”募集

自然遊び班の新企画、「里山探検隊」が5月よりスタートします。山崎の谷戸ってどんなところ? 知っているようで知らない谷戸のこと。小学生のみなさんに、山を歩きながら、農作業の体験をしながら、たくさんの谷戸の魅力をお伝えします。お母さんのお手伝いスタッフも募集します。

- ★対象:小学生
- ★定員:各学期定員15名
- ★活動時間:10:00~14:00 ※弁当持参
- ★申込み:学期ごとに、山崎谷戸の会・会報、
広報かまくらにて募集案内掲載
1学期は4月1日より受付開始
会員登録の後、登録してください。



【2013年度活動予定】※毎回、谷戸周辺の散策をします。

<1学期>

2013年5月19日(日)「さつまいもの苗植え」

2013年6月23日(日)「竹で遊ぼう」

<2学期>

2013年9月8日(日)「秋の虫観察」

2013年10月27日(日)「さつまいもの収穫」

<3学期>

2014年2月2日(日)「雑木林観察」

2014年3月2日(日)「わら細工」

詳しい説明は、
4月14日(日)
10:00-12:00
オリエンテーション
で行います。

会場:管理棟2階 研修室

(公財) 鎌倉市公園協会 協働開催

春の谷戸まつり

4月29日(祝・月) 10時~14時・荒天中止

炊き出し(谷戸鍋・餅・ご飯他) 体験コーナー
谷戸産の頒布など

炊き出し頒布券配布11時~ 炊き出し11時半~

★エコに配慮し、お箸、お椀をご持参ください。



各班からのお知らせ



田んぼ班 ★3/10(日)道具の手入れ ★17(日) 苗床肥料入れ ★31(日)畔の整備



粃殻くん炭作りをしていると「懐かしいにおいですね」「何をしているんですか？」などと来園者の方に尋ねられます。粃殻を燃やすと灰になってしまうので、熱を伝え蒸し焼き状態にして真っ黒い炭状にする（表紙の写真参照）。保温、保湿、殺菌作用があるので種粃を蒔いた後に土の上からかけることを説明すると、「そうなんですか。がんばってください」と励まさせていただきます。余裕を持ってコミュニケーションができる楽しい時期です。苗床の耕しと草の根っこ取りもコツコツと始めています。



畑班

★3/3(日)耕し・ねぎの種蒔き ★10(日)道具の手入れ ★17(日)、31(日) 堆肥撒き・草取り・耕し ★24(日) 草取り・耕し

この冬は寒さが厳しかったのか、疎林広場の小麦の苗は見るたびに霜柱に持ち上げられており、その分、麦踏み回数を増やした結果、しっかり根付いたようで、柔らかな葉の緑がきれいです。2月はじゃがいもの植付けをし、さつまいもの苗床の準備や里芋の畑の準備も進めてきました。3月は温かくなると一気に成長する草を取ったり、畑の元肥になる堆肥を撒いて鋤き込む作業をしながら、日頃お世話になっている農具の手入れをして、春の農繁期に備えます。谷戸の畑は段々畑で日溜まりになる所が多く、寒い日でもほっこりして春はもうそこまで来ています。



1/20 畑の荒起こし・整備



雑木林管理班

★3/3(日)雑木林の除間伐 ★10(日)道具の手入れ



2/17 雑木林の除間伐

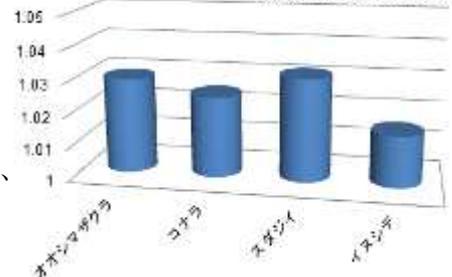
草刈りをした土手には、タチツボスミレやオオイヌノフグリのかれんな花が咲いています。

雑木林の草刈り・除間伐の活動や、毎木調査(エリアを決めて、樹木の種類・位置・胸高直径を記録する調査)を昨年から実施して

います。今年の追跡調査の結果、1年でコナラ、イヌシデ、スダジイなどの樹木の直径が1から3%増加していることがわかりました。

山崎の谷戸毎木調査

2012-2013年 直径の増加分



農芸班

立派に実った「たのくろ豆」を一晩水に浸してから柔らかく茹でて、すり鉢とすりこ木を使って手作業で潰しました。「手作り」に不安を持っていた参加者の方も、谷戸の味噌作りを体験して「自宅でも作ってみたい」と意気込みを話されていました。仕込んだ味噌は春のあたたかさに向かって発酵が進み、暑い夏を越してじっくりと熟成されます。でき具合が気になりますが、私たちも美味しい味噌になる秋をじっくり待ちたいと思います。喜びと誇りをもって！新年度は6月の梅干し作りからです。



2/8 味噌作り



自然遊び班



2/3 ヒメコウゾで紙漉き



2/17 かまどで火起こし体験

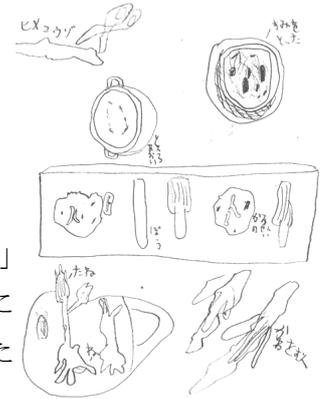
～「ヒメコウゾで紙漉き」の感想文より～ ・ヒメコウゾを切る
ところからいくつもの工程を追う事が出来良かったです。さま
ざまな年代の方々が関わっていらっしゃる谷戸の会さんが環境
も含めすてきです。(森の学校 N.S) ・紙を叩くのが楽しか
った。かみをつくるのにこんなにてまがかかるとはしらなかつ
たです。一まい一まいのかみをたいせつにつかいたいと思いま
した。(文・絵 森の学校 小学3年 0・R)

★3/3(日)・5/12(日)

子ども里山一日体験「昔遊び」

遊びの名人のおじさんと一緒に
竹馬や竹笛などを作ります。
竹馬にウマく乗れるかな。

2/17(日)に行われた「かまどで火起こし体験」
では、かなり苦戦しながらもマッチの火が小枝に
燃え移り、だんだんと燃えてゆく様子を、子どもた
ちは驚きながら見入っていました。



★3/17(日)父と子の里山体験「竹でお椀と箸作り」

竹は、さまざまな暮らしの道具に加工され、昔も今も日本人にとって身
近な素材です。竹をのこぎりで切り、お椀やお箸作りをします。
雑木林で木の伐採も行います。



生態系保全班

この冬はカシラダカやウソが多く見られました。大雪の
あとは近寄っても逃げず、必死にエサを取っているようで、
雪でエサが取れず、お腹がとてもしいていたのだらうと思
いました。そんな鳥たちもさえずりを始めました。また、
今年もアカガエルが産卵に来ました。アカガエルの好みに
合わせ、湿地や田んぼの水を調整しています。そこに卵を
発見した時は嬉しいですね。暖かくなると、孵化したオタ
マジクシが田んぼを泳ぐ姿を見られることでしょう。



2/13 カエルの卵の観察



植物育成班

★3/10(日)帰化植物除去作業 ★18(月)早春の野草を見る

★4/1(月)野草の種蒔き ★8(月)帰化植物の分布

冬の寒さが厳しかったせいか春の野草の開花が遅れてい
ます。それでも日当たりの良いところではちらほらツボミが
開き始めました。それと同時に帰化植物も元気よく育って
います。帰化植物もかわいい花を咲かせるので心が痛みます
が、もともとある野草が減ってしまうのでは仕方ないと除去
しています。また、野草の種蒔きの時期です。野草は発芽ま
で時間がかかりますが、ゆっくりのペースにあわせて、発芽
を待つのも楽しみのひとつです。



1/21 野草生育地の手入れ

谷戸の自然だより

～早春に向かって～

今まで、鎌倉に雪が降るのは、冬型の気圧配置がくずれる早春が主でした。今年のように真冬に雪が多いのは温暖化の兆しでしょうか。アカガエルの産卵や春の野草の開花が遅れていますが、野鳥の繁殖の兆しは例年通りです。2月に入ってエナガ、トビ、モズなど繁殖の早い野鳥が求愛行動を始め、3月になれば、シジュウカラやヤマガラ、ウグイスが鳴き始め、巣作りを開始します。野鳥の場合、気温よりも日の長さが、繁殖活動に関係しているようです。

～雑木林が荒れて、落葉樹が増えた？～

あれ？と思うかもしれませんが本当です。手入れをされずに荒れた雑木林では、シイやタブなどの常緑樹だけでなく、ミズキ、イヌシデ、ハゼ、アカメガシワ、カラスザンショウなど、昔はほとんど見かけなかった落葉樹が増えています。昔の雑木林では、クヌギ、コナラ、ヤマザクラなど役に立つ数種類の落葉樹だけが残され、その他の樹木や下草は刈られていたようです。

つまり、雑木林の手入れがされなくなったから、樹木の種類が増え樹木が大きくなり、自然が豊かになった面もあるのです。実際、30年ほど前に比べると、紅葉がきれいになりキツツキ類など森林性の野鳥の種類が増えました。

一方で、みなさんがご存知のように、樹木が大きくなりすぎ山崩れが起きやすくなった、樹木が茂りすぎて薄暗くなり野草が減った、大木の林ばかりになり、若い林や疎らな林を好む昆虫や野鳥が減った、昔からあるクヌギやヤマザクラの後継樹が育たなくなったなどの問題が山積んでいます。

ミズキ、イヌシデ、ハゼ、アカメガシワ、カラスザンショウなど新しく増えてきた落葉樹は、野鳥が好む木の実を稔らせ、昆虫が集まるなど、生態系を豊かにしています。しかしこれらの落葉樹は樹形が横に広がり傾きやすいことから、山崩れの原因にもなりやすい樹木です。

前回、「新しいタイプの雑木林」ができつつあると書きましたが、常緑樹だけでなく、昔はあまりなかった落葉樹の扱いをどうするか考えなければなりません。

しかも、「新しいタイプの雑木林」の実態は専門家もほとんど調査していないのです。「新しいタイプの雑木林」のよさを活かしながら、雑木林が荒れすぎないように新しい手入れの方法を市民が考えていかなければなりません。鎌倉のように緑が残り少ない地域では、地形により場所により、雑木林の手入れの仕方を変えるなど細かい配慮が必要でしょう。次回以降それらについても考えていきたいと思えます。

谷戸の裏方④

～ 柵作り ～

なるべく少なくしたい柵ですが、生態系保全のために大切な役目をしています。「持ち出さない持ち込まない」を原則に、谷戸内の資源を最大限有効活用しようと心がけているので、景観を保つためにも間伐材などで作ります。



傷みやすい自然素材なので、毎年手直しが必要です。会員の方々のきめ細かい手入れのおかげで、田んぼの生きもの

谷戸保全作業団体 参加募集

グループで年間数回の保全作業（田畑の耕作や湿地復元など）に参加してみませんか。会員登録、谷戸まつりの手伝い、谷戸塾受講をしていただきます。

選考があります。

お楽しみ会も
できます♪



谷戸往來 谷戸往來 谷戸往來

春の七草&どんと焼き 1/15(火)

14日が大雪のため、翌日に延期して実施しました。参加者は少なかったですが、当会特製のだんごと七草がゆはみなさんに好評でした。



自家製米粉のだんご

『やんちゃお』による保全活動終了

青空自主保育『やんちゃお』が11月まで毎月1回、「もめんばたけ」の保全活動に取り組み、毎回の活動に30人以上の子どもが参加して真綿を育ててくれました。昔の風景を維持すると共に、畑があることで多くの生きものの生活の場を保全することができました。

「7口のNPOをつくるための10の講義」最終回を谷戸で開催

2/17(日)、横浜市市民活動支援センター主催の講義(全6回)最終回が谷戸で行われ、参加した7人は田んぼ班の「藁切りで堆肥作り」を体験し、市民活動について活発な質問が飛び交いました。【感想】★作業をする一人一人に自分の居場所があり、居心地のよさを感じた。(神森瑛実花)★沢山の会員の皆さんが日々目配りし、汗を流しているからこそ、豊かな谷戸の自然が残っているんだと感じました。(高森道子)



谷戸の各所を案内

かまくら食育クラブ員養成講座開催

2/17(日)、市民健康課主催の講座の実習が谷戸で行われ、7名の方が参加しました。【感想】★女性のみなさんの手際よさに感心しました。★こんな活動をしている人たちがいるのに驚きました。★畑班の方たちが自然で親切で、野菜に対する愛情がとても深くて感心しました。



じゃがいもの植付け

天神山の畑の見学へ 2/10(日)

山崎の谷戸で耕作をしておられた西山忠治さんには、会発足当時より畑作業を教えてもらっています。その西山さんのプロの畑を見せていただきました。山崎の守り本尊である天神山の一郭にこんなに豊かな畑があるのかと驚き、当会の作業に活かしたいという質問が出ました。お土産にはたくさんの竹をいただきました。畑作業には欠かせない大切な材料です。いつも提供していただき感謝しています。

中学生の下草刈りに今年も協力 2/26(火)

毎年この時期に、鎌倉風致保存会主催で、近隣中学校3年生による里山の保全作業が行われ、今年も当会が指導協力しました。今年、谷戸を訪れたのは玉縄中学校150名。普段手にしないのこぎりや刈り込みばさみを使う作業は生徒達にも好評で、熱心に取り組んでいました。おかげで谷戸の隅々がきれいになりました。

